

やすらぎの森

contents

- 2 教育プログラム
- 3 施設の売り紹介
- 4 人生いろいろー皆のおかげ。ありがたい短歌俳句
- 5 フォレスト写真館
- 6 KFフォーラム
文化講演会

新春号
2017.1

Vol. 65

年頭のご挨拶

介護老人保健施設「フォレスト熊本」

施設長 上妻和夫



昨年は4月に襲った2度の熊本大地震で益城町を中心に大被害を受け、いまだ自宅に住めなくて、仮設住宅の生活を余儀なくされている家族も多くいらっしゃると思います。フォレスト熊本では外壁や建物内部の壁など一部分の被害で済みましたが阿蘇方面では一部道路や鉄道、橋などまだまだ復旧していません。今年は早く復旧・復興に向けて地震前の元気な熊本県を取り戻してほしいものです。

さて少子・高齢社会といわれて久しく、今や日本では高齢化率が26%を越していますが、これから年金だけで生活ができるか気になるところです。そこで杏仁会主催の文化講演会で、昨年11月27日「広がる高齢者の貧困と格差」下流老人問題とは何か」をテーマに藤田孝典さんに講演をお願いしました。下流老人とは「生活保護基準相当で暮らす高齢者およびその恐れがある高齢者」と定義していて、①収入が著しく少ない②十分な貯蓄がない③頼れる人間がないの3つのないが指標になるということです。そして、誰もがなり得る下流老人のパターンとして

①病気や事故による高額な医療費の支払い②高齢者介護施設に入居できない③子どもがワーキングプア(年収200万円以下)や引きこもりで親によりかかる③熟年離婚④認知症でも周りに頼れる家族がない場合ということです。老後破産という言葉も使われ、入院や介護が必要に

なると年金では足りなくなつて、人生バラ色にほど遠くお先まつ暗の悲惨な結果を招いていきます。そうならない安らかな老後を迎えるためにはどうしたらよいか。次のように述べられています。生活保護などの社会保障制度の利用。今のうちから病氣や介護に備え、「無料定額診療施設」などの利用。プライドを捨てる。少しでも貯蓄する。地域社会へ積極的に参加する。地域のNPO活動を利用するなど提言しています。今回の藤田さんの文化講演会には大変多くの方が来場され、皆さん熱心に聴き入っていました。

高齢社会がすすむなかこれからも医療費、介護費も増加の一方です。国は財源を抑えるために国民の負担を増やしていく方向です。今後介護費用も利用料の一部1割から2割へ、2018年から高所得者はさらに3割負担、また要介護1、2の生活援助サービス中止や、福祉用具の貸与も軽度者への中止などが検討されています。サービスは低下するの支出は増加となり、特に利用料金の増加は下流老人の要因となりますからますます生活が苦しくなることになりま

す。最近よく地域包括ケアシステムの中での高齢者が安心して暮らせるよう、医療、介護、予防、住居、生活支援サービスを切れ目なく提供・支援していくというわけ

からない工夫が必要かと思われ

ます。フォレスト熊本ではその住居を支援するため、サービス付き高齢者向け住宅を昨年6月に新大江に開設しました。主に60歳以上が対象で、自立の方から要介護の方まで入居できます。食事の提供はもちろんの事、介護スタッフもいますので、介護保険を利用している人な介護を利用することができて、一定以上の所得がある方にとっては安心して暮らせ

ます。地域での高齢者の介護などのいろんな相談窓口地域包括支援センター(高齢者支援センター)があります。当施設では保田窪に「ささえりあ帯山」を開設し、高齢者の生活や介護の相談あるいは家族が認知症で困ったりした場合はその相談にのってくれます。特に昨年の熊本地震では独居高齢者の安否確認などにスタッフが休む間もなく東奔西走してくれました。

今後高齢者の尊厳の保持と自立支援をめざし、中間施設の使命である在宅復帰を推進し、在宅強化型老健施設として運用します。フォレスト熊本が開設されたのが平成10年1月で今年20年目を迎えています。安全面では、今後も事故のない安全、安心な介護をかかげ、職員一丸となつて、質の高いサービス向上を目指して頑張つてまいりますので本年もよろしく願ひします。

平成28年度フォレスト熊本

現認研修専門コース1

対人援助実践者・ 心理学プロフェッショナルコース

教育 プログラム

専門コースは、3年以上医療・福祉関連の仕事をしている職員を対象にした専門コースです。その一つが、我々が『対人援助職』として人と関わる際に、身につけておくべき知識や技術を専門的に勉強していきます。『体調不良や身体機能の低下』『環境の変化』『悩みながらの仕事』『思いもよらぬ出来事』等、様々な状況により『ころ』が不安定になります。そのような時、私達には何が出来るのでしょうか？お話を聞くこと、寄り添う事…『ことば』は自分の思いを伝え、他人の気持ちを知る為の道具として使われます。『ことば』は人を温かくしたり、楽しませたり、癒したり、悲しくしたり、怒らせたり、様々な影響を与えます。ひとの気持ちを大切に受け取り、『ことば』を選び、丁寧にお返しすることについて学んでいます。今年は、メンバー全員で心理学の資格取得を目指しています。カウンセリングの技法を学び、皆さんのころの扉に静かにノックできるように、体験学習を積み重ねていきたいと思っています。

それと、当施設の目玉でもあるアクティビティケアについての専門家を目指しています。各専門職が職種を超えて個々の得意分野の『技（わざ）』を磨いています。『交流し合い』『笑い合い』『無邪気に遊び合う』そんな豊かな時間が共に過ごせるようにこれからも勉強をしていきたいと思っています。



フォレスト熊本の



が売りです!!

老後の生きがいづくり

『アクティビティプログラム』の仕組み

アクティビティ推進室 池田憲治

当施設では、開設当初からアクティビティプログラムを実施しています。現在12セクション（サークル部門28種類）の活動が行われています。どの活動も、講師ボランティア・専門職員（有資格者）が実施しています。フォレスト熊本で習い事をして、それが身になったら、在宅でも継続して実施できるように支援します。さらに、完成した作品や練習の成果を多くの方に見て頂き、感想を頂けるような機会をつくっています。このような流れをつくる事で、意識・意欲を高く持ち実施できるようにしています。



お菓子の香梅『作品展示会』



託麻原小学校『交換展示会』



フォレスト熊本文化祭



その他に『大正琴発表会』、『民謡発表会』、『選抜のど自慢大会』等

人生いろいろ



田上 アツ子様

皆のおかげ。

ありがたい

私は熊本県南阿蘇村（旧白水村）で大正6年7月26日に岩本家の8人兄妹の長女として誕生しました。

父は白水村で村議会議員をしており、忙しい日々を送っていました。家では肥後赤牛の牡牛（コッテ牛）を育てており、母も父と百姓をしながら私達兄妹を育ててくれました。

私は18歳の時に夫の正三と結婚し子どもを4人授かりました。夫は警官であった為、毎日忙しく飛び回り、私も農業をしながら子育て

をしました。

100歳を迎え、今、私
が元気にこうして過ごせて
いるのは、皆様のおかげ。
今までご縁があつて関わつ
た人達、一人ひとりのおか
げです。長生きの秘訣はと
聞かれると「好き嫌がなく、
なんでも食べる」と言つて
いますが、御馳走を食べら
れる事にも感謝。感謝！こ
れからもまだまだ元気に頑
張っていきます。フォレス
ト万歳!!!



ご利用者の作品

選・総評 松岡 妙子 先生

講評

誰しもが予想だになかった（熊本大地震）から半年が過ぎましたが、尊い命を落とされ嘆き悲しまれているご遺族の方々、家が全壊、半壊または一部損と、まだまだ苦しみは続きます。しかしながら、かつて余り感じられなかった（強い絆）が生まれた事は確かです。熊本県民同志…。

ところでこう言つた状況の中皆様は歌を忘れず、詠み続けてこれ、しかもその作品が以前にも増して研ぎ澄まされているのには、感動しました。

これからもめげずに移り変わる自然の美しさ、又は心の動きなど（五七五）（五七五七七）と指折り数えて辛さから解放されて下さい。

十一月一日

俳句

・雨音のかぶさり虫の声幽か
・亡き父の帽子破りて侘つ案山子
・秋遍路うたふは望郷子守唄
・激震や心の壁にしみる梅雨
・空蟬や不開門に爪を立て
・亡き母に一こと言うて着る単衣
・花便り予報外れてまだ余寒

濱村アヤ子
竹下 富恵
高野 和人
甲斐貴久子
吉川 テイ子
村上 洋子
吉川 勝

短歌

・いづくにて吹くオカリナか風にのり聞こえるなり荒城の月
・職を退き家居のひと日ただに長し新聞三度開きておりぬ
・卒春なる母の背温め春風のこの広空を吹きわたりおり
・山の端の人道雲はさりながらにソフトクリーム白くもくもく
・上棟の木の香漂う暑きなかその槌音の空に吸わるる
・はや卒寿独りながらも健やかに日々を過ごせり有難きかな
・ああ今は実りの秋ぞ降灰に阿蘇の一面灰色にして
・大往生飼つてた兎は十三歳今宵満月おもかげの顫つ
・夕つ方戻り来たればわが方に翅を休むる、ああ赤とんぼ
・わが城の家傾きぬさわあれど流した涙明日こそ乾け

竹下 富恵
迎田 友子
続 モモエ
坂本イチ子
吉川 テイ子
正木 恒子
隈部スヤ子
椎原 圭代
岡本 恭明
池田 憲治

杏仁祭

ふおれすと 写真館



9月行事

敬老会



11月行事

文化祭



一般財団法人 杏仁会 文化講演会

11月27日（日）に文化講演会を開催しました。

第19回目を迎えた今回は、NPO法人ほっとプラス代表理事で『下流老人一億老後崩壊の衝撃』の著者の藤田孝典氏をお招きし、下流老人問題をテーマに高齢者の貧困問題を生み出す日本社会の現状などをお話いただきました。あいにくの雨にもかかわらず、大変多くの方にご来場いただきました。



第17回 江南病院グループ学会

KFフォーラム

教育研修委員会 園村加奈子

9月25日に第17回江南病院グループ学会KFフォーラムをパレアで開催致しました。今回は未曾有の震災もあり研究活動もままならない年でありましたが、当施設から2題の演題発表がありました。

訪問看護ステーションからは、在宅での長い経験を活かして、かかりつけ医と連携した終末期医療にクリティカルパスを用いて取り組んだ『在宅看取りクリティカルパス（〇〇さんの日記）の試み』の発表がありました。在宅での看取りが決して珍しいものではなく、利用者や家族もメンバーの一員であり生活の中で行われているという事を参加者に示すことができました。

次に、在宅総合支援事業部から今回の震災を経験して在宅を支えるスタッフはどのような対応をしてきたのかワールドカフェという手法を用いて振り返りをした、『熊本地震における在宅事業部の振り返り』の発表がありました。

対話を行う事で、個別的な課題から今後の災害に備える創造的課題を共有できたことは、平時の災害対策を考える上での一つの指標になったと思います。今後とも根拠をもった活動の継続を目指します。

編集後記

明けましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様いかがお過ごしですか。私は、家族とたくさん遊んで、寝て、食べて…（笑）のお正月でした。だから、ブクブクと…（泣）。努力してもとに戻したいと思います。さて、昨年は熊本地震に見舞われた皆さんの方が被災されたと思います。しかし、県内外の方のご支援をいただきながら、少しずつ日常を取り戻すことが出来ています。まだまだ、復興には時間がかかると思いますが、熊本県民皆で力を合わせて歩んでいきましょう。そうすること、きつといい年になること間違いなしです。

ささえりあ帯山

芹川 真寿美



介護老人保健施設

一般財団法人杏仁会

フォレスト熊本

（江南病院併設）

（入所・短期入所・通所リハビリ）

〒862-0970 熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号

TEL.096-363-0101 FAX.096-363-3363

【Mail】forest@kyouninkai.jp 【HP】http://www.kyouninkai.jp/forest/

◆関連施設 訪問看護ステーション フォレスト熊本 TEL.096-375-1411
ホームヘルパーステーション フォレスト熊本 TEL.096-375-1411
居宅介護支援事業所 フォレスト熊本 TEL.096-206-0091

◆熊本市地域包括支援センター 熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

◆熊本市障がい者相談支援センター ウィズ

◆関連病院 くまもと青明病院
熊本内科病院・江南病院

◆サービス付き高齢者向け住宅 花鏡
◆デイサービスセンター 花鏡
◆ヘルパーステーション 花鏡
◆居宅介護支援事業所 花鏡